



学校だより

かけ橋

パート IV

横須賀市立汐入小学校 校長室

2014. 4. 14

No. 1

元気でやりぬく子  
すすんで学ぶ子  
思いやりのある子

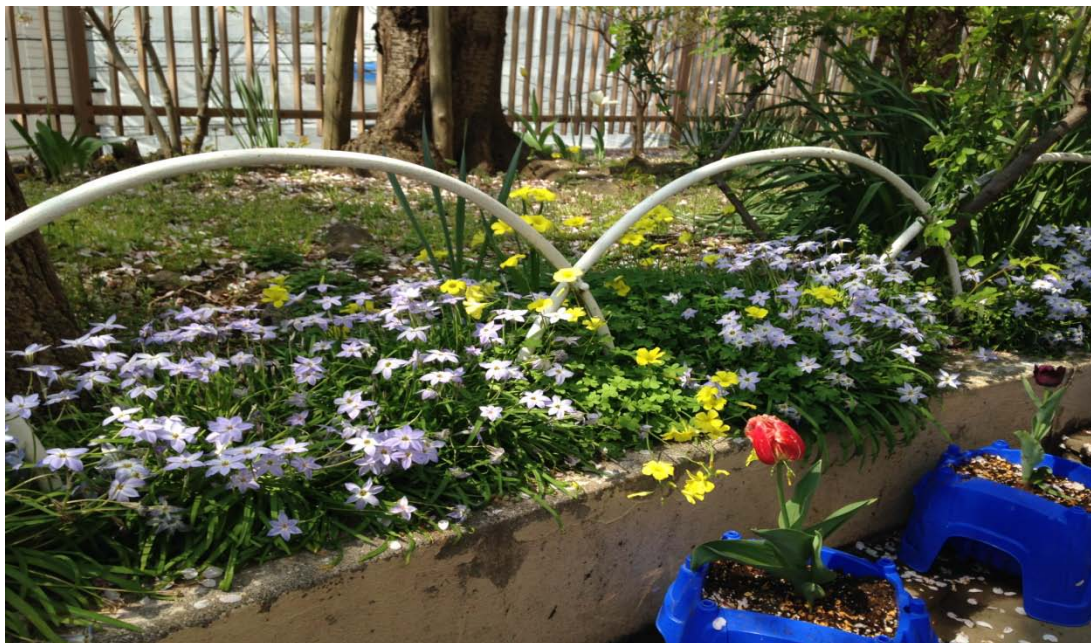
## 今年は、111名です

毎年、「今年の新入生は何人ですか？」と地域の方に聞かれます。このところ、20名前後の新入生があり、いつも「それは良かったですね。」と言われます。

何年か前の統合問題以来、地域や保護者の方々が、児童数にとっても関心を持ってくださっています。全校児童数は、順調に増え、今年度の児童数は以下の通りです。

1年	22名
2年	17名
3年	22名
4年	20名
5年	17名
6年	13名
合計	111名

元気な汐っ子たちを指導していくのは、以下の教職員です。今年度もどうぞよろしく願いいたします。



この学校だより「かけ橋」も、今年で4年目に入りました。学校と地域・保護者の方々の思いをつなぐ一助になればと考えて、不定期に発行します。保護者の方には、家庭数でお配りします。地域の方には、町内会の回覧板等でご覧いただくことになります。印刷は予算の都合上白黒ですが、汐入小学校のホームページでは、カラーで見ることができます。多くの方にお読みいただき、率直なご意見ご感想をいただけるととても励みになります。

# 今年度の重点目標

学校目標は、昨年度同様、「元気でやりぬく子」「すすんで学ぶ子」「思いやりのある子」です。それを受けて、本年度は、以下の3点を重点目標と決めました。

## ★学ぶ楽しさ、学ぶ意味に気付かせる授業を心がける

小学校教育の目標は、学校教育法に以下のように記されています。

「生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うこと」

この中で、特に「生涯にわたり学習する基盤」という言葉に着目しました。そのためには、授業が楽しいものでなければなりません。低学年の間は、楽しいからやるのですが、高学年になると、学ぶ意味が分かるからやるようになります。発達段階によって違います。

どんなことを楽しいと感じるかというのも一人ひとり違います。そのため、どんな時も全員が楽しいということはありません。しかし、「ぼくは楽しくないが、あの子は楽しいようだ。」ということに気づくことは、とても大切な学びだと思います。

子どもたちの発達段階や一人ひとりの意識の違いに寄り添いながら、授業を組み立てていくことを心がけます。

★人と関わる楽しさや自分自身の成長を実感して、それをお互いに気づき、認め合う学級づくりを通して、汐入小で学んだことに自信と誇りが持てるようになる。

子どもたちは、1日24時間のうち、多い時は8時間近く学校で過ごします。その学校生活の多くは、学級で過ごすこととなります。学級での様々な経験を通して成長していきます。人生と同じように、いい経験ばかりではありません。困難な経験やつらい経験もあるでしょう。

しかし、それらの経験は、「自分」というものをつくる基盤となることは、大人なら誰しも経験していることです。子ども同士の関わりを大切にしながら、大人がそれをしっかりと見守り育てていきたいと考えています。

★保護者・地域を巻き込んだ教育活動の実践を、学校として、組織的・計画的に行う。

昨年度、「子育てトライアングル」を提唱し、地域や保護者の皆様に、多くのご協力をいただきました。今年度も昨年度同様、よろしくお願ひいたします。

合言葉は、「無理なく、でも、ちょっとの手間を惜しまない」です。無理していろいろやろうとしても長続きしません。しかし、例えば、地域の方が、「元気なあいさつで気持ちがいいね。」と一声かけてくださるだけで、子どもの意欲は、グンとあがります。「ちょっとした手間」というのは、そのようなことを考えています。

